



# 刻歩極頂

長井市立西根小学校  
学校だより第6号  
令和4年7月15日

「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一歩一歩の歩みを大切に 頂上にたどり着く  
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

## 多くの学びとしっかりした行動 実り多い修学旅行

6月30日(木)～7月1日(金)、6年生が仙台・松島方面への修学旅行に行ってきました。

「仙台の歴史や東日本大震災について見て、聞いて、深く考えながら学ぼう!」「一人一人が協力して、安全で楽しい修学旅行にしよう!」というめあてを立てて、それぞれの班と係の仕事、調べ学習などを分担し、十分に事前学習を行って臨みました。

初日の行き先は、仙台市科学館、松島(昼食)、石巻市震災遺構門脇小学校、松島遊覧船、松島観光物産館、ホテル大観荘泊。十分に事前学習をしており、バスの中で「ミニガイド」の発表で学びを深めていました。宿舎で整然と並べられた靴にも、子供たちの充実ぶりが表れていたと思います。

2日目の行き先は、五大堂・瑞巖寺、伊達政宗歴史館、うみの杜水族館(昼食)、仙台市天文台(プラネタリウム)。たいへん暑い中でしたが、しっかりした態度での見学、班行動では班長を中心に時間をよく守って協力的に行動できました。バスの中での「バスレク」も準備されていて、和気あいあいの楽しい時間になりました。

2日間、子どもたちのしっかりした行動、みんなで楽しい時間を過ごすことのできた、実り多い修学旅行になりました。石巻市震災遺構門脇小学校は、地震から1時間後に大津波が襲来し、津波火災が発生、校舎は炎に包まれた「津波火災」の痕跡を残す遺構です。暑い中でしたが、子供たちは懸命にメモを取り続けながら、真剣な表情で見学しました。また、遊覧船や宿舎は楽しい思い出として心に残る時間を過ごすことができました。6年生にとって、実り多い修学旅行になりました。



6年生修学旅行 1日目の様子



2日目の様子

# 生き生きと学んだ 2年町たんけん 3・4年社会科見学

6月22日（水）、2年生が生活科の学習で「まちたんけん」に出かけました。探検させていただいた所は、西根郵便局、ペット美容室ブルーム、西根コミュニティセンター、古代の丘資料館、洞松寺です（敬称略）。子供たちは、にこにこ元気に探検できました。



6月23日（木）、3年生は、社会科見学に出かけました。見学先は、市役所、川のみなと長井、野川まなび館です。たいへん意欲的に学んできました。市役所の屋上にも上らせていただいたそうです。よかったですね。



6月21日（火）、4年生が社会科見学に行ってきました。見学先は、千代田クリーンセンター、山形県職員育成センター（昼食）、山形県庁、山形県警察本部です。たっぷり学んで帰ってきました。



見学先の皆様、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

<ミニコラム> 子どもの心とことばを育てるために（その3）

## 子どもに自己決定を促す「3つの言葉」

安心できる環境をつくること、ストレスに強い脳をつくることのできる、魔法のような言葉があります。麴町中学では「3つの言葉がけ」と呼んでおり、子どもに何かのトラブルが起きたとき、全職員がその対応方法の指針としているものです。

もちろん、保護者にもできるだけ家庭で使ってもらうよう紹介しています。

- 1 「どうしたの？」（「なにか困ったことはあるの？」）
- 2 「君はどうしたいの？」（「これからどうしようと考えているの？」）
- 3 「何を支援してほしいの？」（「先生になにか支援できることはある？」）

第1の言葉がけの「どうしたの？」で、子どもの置かれている状態を言語化してもらいます。メタ認知に必要な自分の内面に意識を向ける訓練にもなる言葉であると同時に、子どもが何をしても頭ごなしで叱らない、ことがポイントです。第2の言葉がけの「どうしたいの？」で、子どもの意志を確認します。自分の置かれている状態を確認するための方法を、頭になかで考えてもらうためのきっかけづくりです。第3の言葉がけの「先生にできることはある？」で、問題解決の手助けをします。

<文献> 『最新の脳研究でわかった！ 自律する子の育て方』、工藤勇一・青砥瑞人著、SB新書  
元・千代田区立麴町中学校長の工藤先生（鶴岡市生まれ）の著作から引用しました。上の「3つの言葉」を使ううえで、「頭ごなしに叱らない」「自己決定させる」ことが大切なポイントです。言い換えれば、「失敗してもいいよ」「やり直していいよ」「チャレンジしていいよ」というメッセージなのです。